

④-2 土の敷均し（ルーズ）

1. 適用範囲

本資料は、締固めを行わない場合の土の敷均し作業に適用する。

2. 機種の選定

作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。

表2.1 機種の選定

作業	作業の内容	機械名	規格
敷均し	幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など	ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通 3t級
	標準		排出ガス対策型（第1次基準値） 普通 15t級
	標準以外		排出ガス対策型（第1次基準値） 普通 21t級
	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など		排出ガス対策型（第1次基準値） 湿地 16t級

(注) 作業の内容が標準以外とは、他の工種の使用機種を考慮し選定した場合である。

3. 日当り施工量

各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。

表3.1 各作業の日当り施工量 (1日当り)

機種	規格	単位	作業条件	
			標準	障害あり
ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値）普通 3t級	m ³	126	
	普通 15t級		684	351
	普通 21t級		981	567
	湿地 16t級		558	351

(注) 1. 作業条件は次の諸条件を考慮し、選択するものとする。

標準：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合。

(例：パイパス工事等)

障害あり：作業現場が狭い、または作業障害が多い場合。

(例：現道上の工事・一車線程度の現道拡幅工事等)

2. 上表は土の敷均し作業のみであるので、C = 1.0 とする。

4. 補助労務

機械による敷均し作業の補助として、普通作業員を計上する。補助労務は次表を標準とする。

表4.1 機械補助労務 (100 m³当り)

機械名	規格	名称	単位	数量
ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値）普通 3t級	普通作業員	人	0.33
ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級	普通作業員	人	0.22

平成25年10月1日以降～平成26年4月29日迄起工適用

④-2 土の敷均し（ルーズ）

1. 適用範囲

本資料は、締固めを行わない場合の土の敷均し作業に適用する。

2. 機種の選定

作業に使用する機械・規格は、次表を標準とする。

表2.1 機種の選定

作業	作業の内容	機械名	規格
敷均し	幅員の狭い箇所の敷均し作業で、施工幅員2.5m以上4m未満の場合など	ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通 3t級
	標準		排出ガス対策型（第1次基準値） 普通 15t級
	標準以外		排出ガス対策型（第1次基準値） 普通 21t級
	トラフィカビリティが不足して普通ブルドーザが使用できない場合など		排出ガス対策型（第1次基準値） 湿地 16t級

(注) 作業の内容が標準以外とは、他の工種の使用機種を考慮し選定した場合である。

3. 日当り施工量

各作業の日当り施工量は、次表を標準とする。

表3.1 各作業の日当り施工量

(1日当り)

機種	規格	単位	作業条件	
			標準	障害あり
ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値）普通 3t級	m ³	112	
	普通 15t級		608	312
	普通 21t級		872	504
	湿地 16t級		496	312

(注) 1. 作業条件は次の諸条件を考慮し、選択するものとする。

標準：作業現場が広く、かつ作業障害が少ない場合。

(例：パイパス工事等)

障害あり：作業現場が狭い、または作業障害が多い場合。

(例：現道上の工事・一車線程度の現道拡幅工事等)

2. 上表は土の敷均し作業のみであるので、C = 1.0 とする。

4. 補助労務

機械による敷均し作業の補助として、普通作業員を計上する。補助労務は次表を標準とする。

表4.1 機械補助労務

(100 m³当り)

機械名	規格	名称	単位	数量
ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値）普通 3t級	普通作業員	人	0.38
ブルドーザ	排出ガス対策型（第1次基準値） 普通 15t級、普通 21t級、湿地 16t級	普通作業員	人	0.25

平成26年4月30日以降起工適用